

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2017年6月29日

「パンデミック緊急ファシリティ」への参画について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、今般、世界銀行が日本・ドイツ政府等と連携して設立した「パンデミック緊急ファシリティ」に、引受会社の1社として参画しました。

本制度は、2014年西アフリカエボラ出血熱の感染拡大による教訓から設立が進められてきたもので、世界の途上国を感染症の脅威から保護するほか、深刻な感染症が発生した場合に初動対応資金を迅速に供給することで、人的・経済的損失の緩和やその後の早期回復を図ることを目的としています。

当社は、世界初の保険・資本市場を活用した感染症対策となる本制度への参画を通じて、途上国等への社会的貢献に努めていきます。

1. 本制度の概要

- (1) 名称：「パンデミック緊急ファシリティ（PEF）」（保険枠）
- (2) 支援対象先：世界の途上国（77か国^(注1)）、NGO等の支援機関
- (3) 対象期間：2017年7月7日から3年間
- (4) 補償額：4.25億米ドル^(注2)（約470億円）
- (5) 対象リスク：新型インフルエンザ、コロナウィルス等による感染症流行リスク
- (6) 引受手段：デリバティブまたはキャットボンド（大災害債券）

（注1）国際開発協会（世銀グループ）の融資適格国

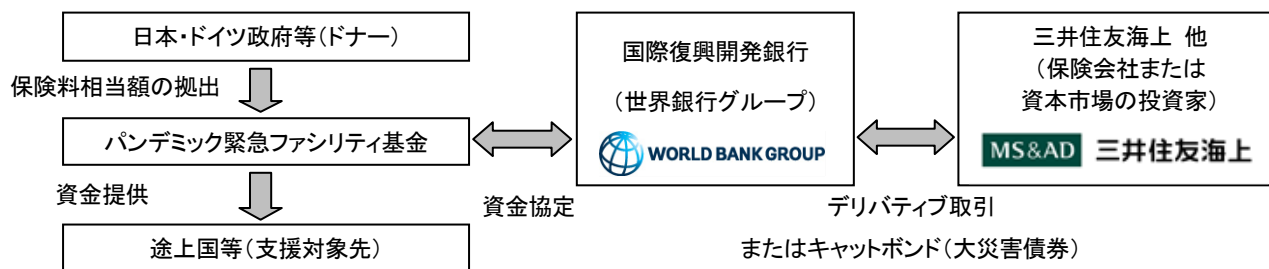
（注2）世銀では保険枠以外の枠を含め5億米ドル超の補償額を確保

2. 本制度のスキーム

世界銀行グループの国際復興開発銀行（International Bank for Reconstruction and Development）とのデリバティブ取引、または同行が発行するキャットボンドの購入を通じて、世界的な一定規模の感染症流行（パンデミック）が発生した場合に補償資金を提供します。

感染症による患者数や死者数等の客観的指標をもとに支払金額が確定されるため、被害査定を行う必要がなく、支援対象先ではパンデミック発生後に迅速な補償資金を受けることが可能です。

なお、本制度の保険料相当額は日本・ドイツ政府が中心となって負担しています。



以上